

- 問1 東北地方の都市について説明した次の文のうち、宮城県の県庁所在地である仙台市の特徴を正しく説明しているものを選びなさい。（2018年 茨城県公立入試 類似）

1. 古くから城下町として栄え、現在は岩手県の県庁所在地として北東北の拠点となっている。

2. 東北地方唯一の政令指定都市であり、国や企業の出先機関が集まる支店経済都市としての側面を持つ。

3. 日本海側に位置し、最上川の舟運の拠点として発展した山形県の県庁所在地である。

4. 阿武隈川沿いに位置し、福島県の行政の中心地として交通の要所となっている。
- 問2 東北地方に属する県のうち、最も南に位置し、関東地方の茨城県や栃木県と境界を接している県はどこですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）

1. 福島県

2. 岩手県

3. 山形県

4. 宮城県
- 問3 東北地方に位置するある県では、製造品出荷額等が約9兆522億円に達し、工業が非常に盛んです。この県の農業統計を見ると、米の産出額が156億円であるのに対し、野菜の産出額が912億円と高く、県庁所在地などの都市部に向けた生産が特徴的です。このデータが示す県はどこですか。（2024年 高知県公立入試 類似）

1. 宮城県

2. 秋田県

3. 山形県

4. 福島県
- 問4 宮城県北部の三陸海岸で見られる、山地が沈水して形成された複雑な入り江を持つ地形の名称と、その地形的特徴を活かして行われている産業の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 広島県公立入試 類似）

1. 海岸段丘と近海漁業

2. 干拓地と栽培漁業

3. 砂州と遠洋漁業

4. リアス海岸と養殖業
- 問5 宮城県などの東北地方太平洋側において、1993年や2003年のように米の作況指数が大きく落ち込む原因となった、夏にオホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風を何といいますか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 季節風

2. フェーン

3. やませ

4. からっ風
- 問6 東北地方の伝統的工芸品のうち、岩手県の盛岡市や奥州市を中心に古くから作られており、鉄を主原料とした鋳物の工芸品を何といいますか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 天童将棋駒

2. 南部鉄器

3. 会津塗

4. 津軽塗
- 問7 果樹の生産統計において、ももの収穫量が山梨県に次いで全国2位であり、東北地方を代表する産地となっている県はどこですか。（2017年 山口県公立入試 類似）

1. 長野県

2. 福島県

3. 秋田県

4. 山形県
- 問8 ある農産物の都道府県別収穫量を示した統計において、第1位の県の収穫量が46万トン以上あり、第2位の県の約16万トンと比べて突出して多いという特徴が見られました。この農産物と第1位の県の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. りんご – 青森県

2. ぶどう – 山梨県

3. みかん – 和歌山県

4. おとうも – 山形県
- 問9 東北地方に位置し、人口が約230万人で、県庁所在地の人口が100万人を超える県があります。この県の東部に見られる、山地から平野へ出る付近に形成された扇状地の特徴と、そこで発展している産業の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 乾燥した気候を活かしたブドウや桃の果樹栽培

2. 豊富な水資源を活用した医薬品製造

3. 広大な泥炭地を活用した大規模な稲作

4. 火山灰が堆積した土地でのサツマイモ栽培
- 問10 東北地方の各県で展開される特色ある農業や産業について、その背景や関連性を踏まえた説明として最も適切なものはどれか、選びなさい。（2026年 群馬県公立入試 類似）

1. 青森県では、冷涼な気候を克服するために果樹栽培から米作りへと転換が進み、現在は西洋なしの生産量が全国の7割を超えるまでになった。

2. 秋田県や福島県は、西洋なしの生産シェアにおいて山形県を上回っており、東北地方全体の農業生産額の大部分をこの2県が占めている。

3. 東北地方では、伝統的に金属製品の製造を行う地域が多いため、果樹栽培のような一次産業よりも二次産業の割合が全国で最も高くなっている。

4. 山形県では、最上川流域の盆地において果樹栽培が発達し、西洋なしやさくらんぼの産地が形成されるとともに、天童市の将棋の駒のような伝統工芸も受け継がれている。
- 問11 日本の伝統的工芸品の継承に関する記述として、現代の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 安価な輸入製品に対抗するため、伝統的な技法を捨てて、全ての工程を海外の工場での自動生産に委託している。

2. 伝統を守るために、現代の生活用品との融合は避け、古くから伝わる儀式や祭礼のための道具のみを製造している。

3. 後継者不足を解消するために、伝統的工芸品の定義から「手作業」という条件を外し、完全に機械化された製品を推奨している。

4. 職人の技術を活かしながら、現代のライフスタイルに合う実用的な製品を開発し、国内外の需要に応えようとしている。
- 問12 山形県の内陸部に位置する複数の盆地で行われている、地形や気候の特色を活かした農業の説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を利用して、ピーマンやなすなどの野菜の促成栽培が、平野部にあるビニールハウスで大規模に行われている。

2. 大都市へのアクセスの良さを活かして、県内全域で乳牛を飼育する酪農や、キャベツなどの高原野菜を生産する近郊農業が中心となっている。

3. リアス海岸の静かな入り江が多く見られる地理的条件を活かして、カキや真珠、ノリなどの養殖業が古くから発展している。

4. 最上川沿いの平野部を中心に稲作が行われ、盆地の縁にある扇状地などの水はけの良い土地ではさくらんぼや西洋なしなどの果樹栽培が盛んである。
- 問13 東北地方の中央部を南北に貫く山脈の周辺には、地下の熱エネルギーを利用した発電所が複数立地しています。この地域で見られる山脈の名称と、行われている発電方式の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）

1. 奥羽山脈と地熱発電

2. 飛騨山脈と地熱発電

3. 飛騨山脈と火力発電

4. 奥羽山脈と水力発電
- 問14 1949年と2025年の山形市北部の地形図を比較した際、羽羽本線の東側地域で見られる土地利用の変化として最も適切なものはどれですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. かつては田畑が目立っていた場所に、住宅地が形成され郵便局などの公共施設が新設された

2. 仙山線の新設に合わせて、駅前を中心に大規模な商業ビルが立ち並ぶようになった

3. 農業の効率化を図るため、散在していた田畑が集約され大規模な国営農場へと変化した

4. 高齢化社会への対応として、大規模な老人ホームや福祉施設が広範囲に建設された